

漏水位置検知器  
AD-AS-1LDMA  
取扱説明書

タツタ電線株式会社  
システム・エレクトロニクス事業本部  
センサー&メディカル事業部

# <<<安全にご使用いただくために！>>>

## ⚠ 警告事項について

下記の警告事項を無視して誤った取扱をすると死亡や重傷を負う恐れがある他、火災・感電・故障の原因となります。

## ⚠ 警告事項！

### ⚠ 厳禁！

- 検知器の改造・分解は絶対にしないで下さい。
- 施工及び点検は、取扱責任者以外は行なわないで下さい。
- 水に濡れた手で検知器を触らないで下さい。
- お手入れの際は有機溶剤の使用は避け、乾いたウエスで乾拭きして下さい。

### ⚠ 確認して下さい！

- 機器の定格電圧と電源電圧は機器を取り付ける前に確認して下さい。
- 施工及び配線は、取扱説明書の本文に記載された方法で行って下さい。
- 保守・点検は、取扱説明書の本文に記載された方法で行って下さい。
- 制御出力接点を使用される場合は、取扱説明書の接点定格負荷を確認して下さい。

### ⚠ 放置しないで下さい！

- 一般の人が容易にふれる場所。
- 振動、有機ガス、強誘導発生源の近く。
- ゴミ、ホコリの多い場所。
- 水ぬれの恐れのある場所、高温多湿の場所。

## 保証について

本器は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたのですが、万一製造上の不備による自然故障の際は以下の規定により修理またはお取り替えいたします。

## 保証規定

1. 無償保証期間(商品引き渡し日から1年間)  
取扱説明書に従った正常なご使用で、保証期間中に故障した場合は、無償修理又はお取り替えいたします。  
下記お問合せ先にご用命下さい。
2. 保証の適用除外
  - ①保証期間を超えた場合。
  - ②使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障。
  - ③お買い上げ後の移動、落下等による故障、又は損傷。
  - ④火災及び天災による故障、又は損傷。
  - ⑤故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - ⑥出張修理に関わる費用(出張料、技術料)。

## お問い合わせ先

タツタ電線株式会社 システム・エレクトロニクス事業本部 システム・フォト事業部

●テクニカルセンター 〒619-0216 京都府木津川市州見台6丁目5番1号  
TEL: 0774-66-5551(代表) FAX : 0774-66-5556

●上海事務所 〒200120 上海市浦东新区浦东大道720号国际航运金融大厦18楼B座  
TEL:+86-21-5058-5177 FAX:+86-21-5058-5199(810)

# 目 次

	頁
1. 漏水位置検知器各部説明 -----	1
2. 据え付け方法と取り扱い上の注意 -----	1
2-1 据え付け	
2-2 取り扱い上の注意事項	
3. 保守、点検について -----	1
4. 漏水位置検知システムの構成 -----	2
5. 外部接続 -----	2
5-1 電源の接続	
5-2 アースの接続	
5-3 漏水センサの接続	
5-4 制御出力接点の接続	
5-5 漏水位置データ出力の接続	
5-5-1 接続	
5-5-2 漏水位置データ出力の異常	
5-6 RS485通信 (Modbus/RTU) の接続	
6. 動作チェック -----	6
6-1 電源の投入	
6-2 断線動作チェック	
6-3 漏水動作チェック	
7. 動作チャート -----	7
7-1 標準動作チャート	
7-2 警報保持設定時の動作チャート	
8. Modbus アドレスの設定 -----	9
9. 検知感度の設定 -----	9
10. プザ-設定 -----	9
11. 仕様 -----	9
11-1. 定 格	
11-2. 制御出力接点仕様	
11-3. 性能	
◇付図-1 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)外形寸法図	
◇付図-2 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)各部説明	
◇付図-3 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)動作設定スイッチ説明	
◇付図-4 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)表示部説明1	
◇付図-5 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)表示部説明2	
◇付図-6 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)表示部説明3	

このたびは、漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。  
ご使用にあたりましては、この説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。また、この説明書はすぐに取り出せる場所に置き大切に保管して下さい。

## 1. 漏水位置検知器各部説明

漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)には図-1の機能があります。

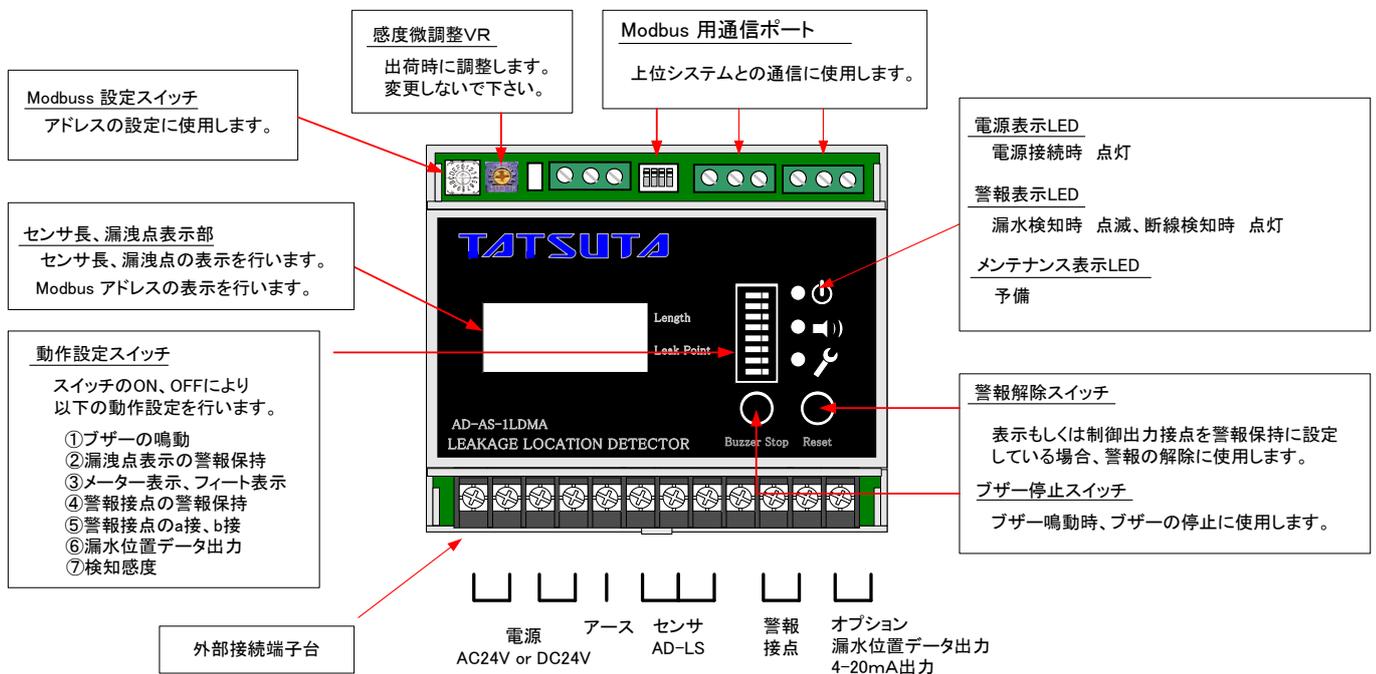


図-1. 漏水位置検知器各部説明

## 2. 据え付け方法と取り扱い上の注意

### 2-1. 据え付け

漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)は屋内の強固な管体の中、壁面等に確実に据え付けて下さい。

なお、取付けに際しては、次の点にご注意下さい。

- 1) 高温多湿、塵埃の多い雰囲気、腐食性ガス雰囲気の場所は避けて下さい。
- 2) 振動のない場所、近くに電源用開閉器等ノイズ発生源のない場所、保守点検の容易な場所に据え付けて下さい。
- 3) センサは、設置場所、環境により、ステッカーや接着テープ等を用いて取り付けて下さい。
- 4) ケースの隙間にドライバなどを差し込まないで下さい。
- 5) センサは、電線としてはご使用にならないで下さい。
- 6) 弊社 AD-LS センサ以外のセンサ、電線等を使用されますと位置検知機能に大きな誤差を生じますので、AD-LS センサ以外のセンサの使用および、併用は絶対に行わないで下さい。

### 2-2. 取り扱い上の注意事項

- 1) 検知器は、温度0°C~50°C、湿度35%~95%の範囲でご使用下さい。
- 2) 振動、有毒ガス、強誘導磁界発生電源の近くに設置しないで下さい。誤動作、及び故障の原因となります。
- 3) 施工後は必ず6章の動作チェックの項目に従ってテストを行なって下さい。

## 3. 保守、点検について

◇ お客様の設備点検時には、6章の動作チェック項目の検査を実施して下さい。

注意) 検査を行う場合は、検知器の制御出力接点も動作します。制御出力接点を使用している場合は他の機器に影響が出ないように配線を外す、または仮配線等の処置を施して下さい。

- ◇ センサにワックス等の油分が付着すると、水をはじいて検知しない場合がありますので注意して下さい。
- ◇ センサが吸水性の物質又は導電性の汚水等で汚れた場合は、センサを取り替えて下さい。

## 4. 漏水位置検知システムの構成

漏水位置検知システムは

- ① 漏水位置検知器(AD-AS-1LDMA)
- ② 漏水センサ(AD-LS)
- ③ 断線検知端末(ZT-L2)

で構成されています。

端子台の各接続は「5.外部接続」を参照して下さい。

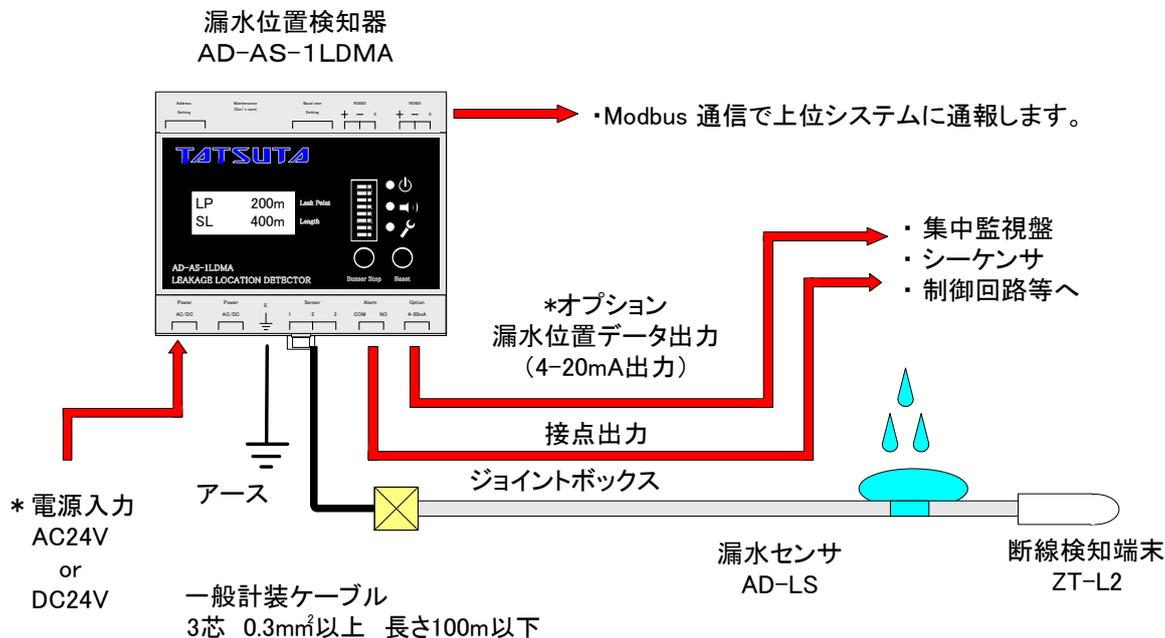


図-2. 漏水位置検知システム

## 5. 外部接続

AD-AS-1LDMAには図-3の端子台が設けてあります。(1～5項にしたがい確実に接続して下さい)

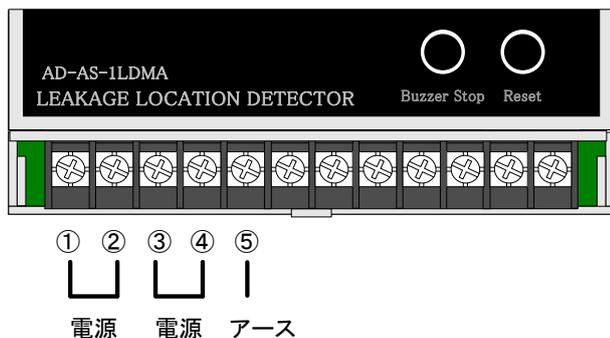


図-3. 端子台配置図

### 5-1. 電源の接続

接続する前に電源電圧が使用範囲内であること、極性を確認し端子台に確実に接続して下さい。

\*使用範囲外の電圧を入力した場合、動作不良、検知器故障の原因となりますので注意して下さい。

各端子の接続は以下となります。

- ① AC24V (DC24V +)
- ② AC24V (DC24V -)
- ③ AC24V (DC24V +)
- ④ AC24V (DC24V -)

\*③、④は渡り配線用の端子台です。①は③、②は④とそれぞれ検知器内部で接続されています。

①、③ もしくは ②、④に電源をつなげると、電源がショートしますので御注意おねがいします。

### 5-2. アースの接続

ノイズ対策のため必ずアースに接続して下さい。

### 5-3. 漏水センサの接続

漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA) に用いる漏水センサ (AD-LSセンサ) の構造、構成は図-4、表-1のとおりです。

\* 各線の形態、機能が異なりますので、検知器への接続には充分注意して下さい。(図-5参照)

間違った配線を行った場合、漏水位置が正しく表示されないか、断線警報が出力されます。

\* 配線の際は検知器の電源を切断した状態で行なって下さい。

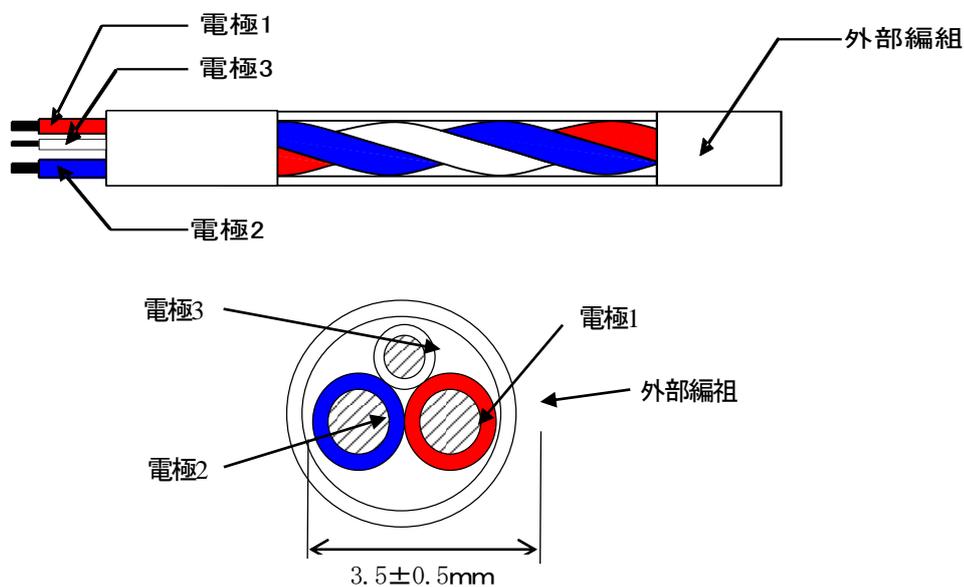


図-4. AD-LSセンサ構造

表-1. AD-LSセンサ構成

要素	構成
編組線	0.33mm錫メッキ軟銅線上に赤色プラスチック系編組
絶縁線	0.5mm錫メッキ軟銅線に青色プラスチック絶縁
抵抗線	φ0.4抵抗線の上に白色プラスチック系編組
外部編組	白色プラスチック系編組

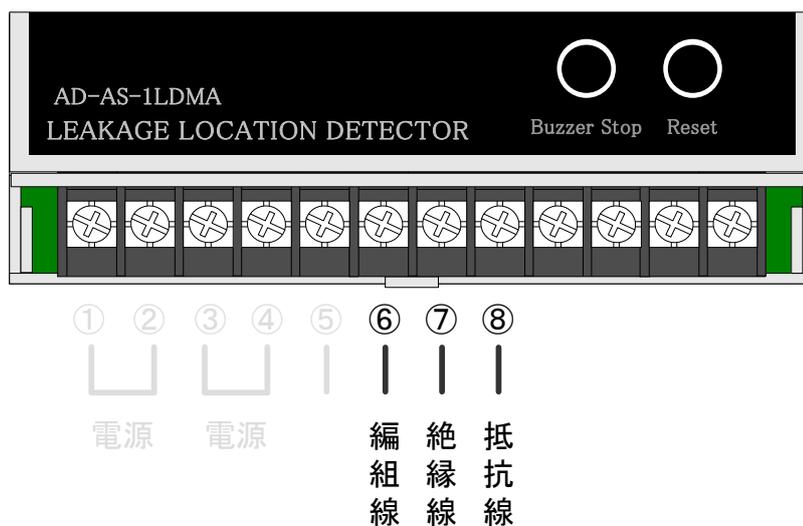


図-5. センサ接続端子台

#### 5-4. 制御出力接点の接続

警報の出力(a接点)がありますので、外部制御が必要な場合は接続して下さい。(図-6参照)

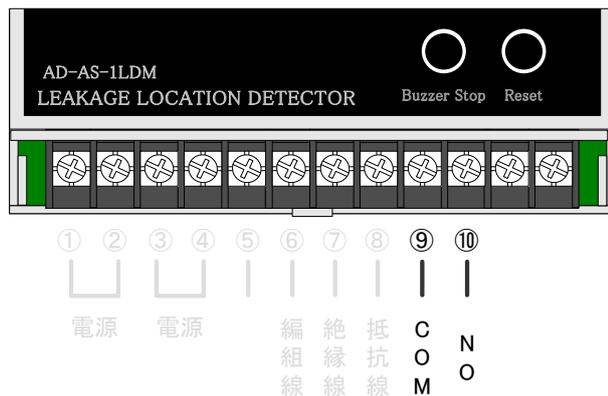


図-6. 制御出力接点

警報接点 COM-NO : 漏水もしくは断線を検知した場合 閉

\* 接点の動作について

動作設定スイッチの設定によりa接点をb接点に切り替えることができます。

詳細は付図 - 3を参照してください。

#### 5-5. 漏水位置データ出力の接続

##### 5-5-1. 接続

AD-AS-1LDMAには漏水位置を直流電流にて出力する機能を付加することができます。(オプション)

\* 入力抵抗が500Ω以下のアナログ入力装置をご使用下さい。

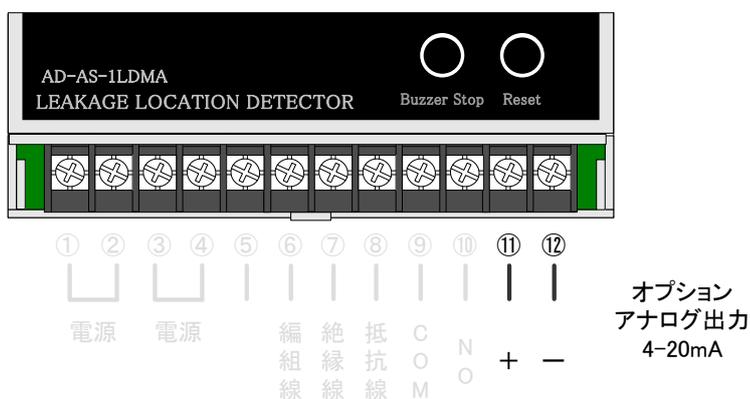


図-7. 漏水位置データ出力の接続

(出力仕様)

センサ正常時 出力電流 = 4(mA)

センサ断線時 出力電流 = 20(mA)

漏水検知時 出力電流 =  $6 + 0.03 \times \text{漏水位置表示 (mA)}$

##### 5-5-2. 漏水位置データ出力の異常

漏水位置データ出力が異常の場合 LCDに「Err 01」が表示がされます。(付図-4参照)

以下の原因が考えられますので確認をお願いします。

① 検知器-外部アナログ入力装置間の配線・接続が切れた。

② 外部アナログ入力装置の入力抵抗が500Ω以上である。

上記で無ければ検知器の故障が考えられます。弊社に連絡ご連絡下さい。

## 5-6. RS485通信(Modbus/RTU)の接続

上位システムと通信を行う接続端子台は以下となります。(図-9参照)

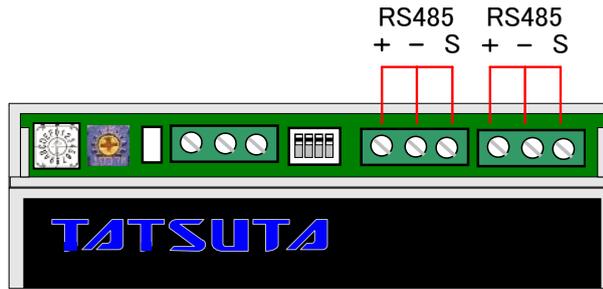


図-8. RS485接続端子台

+端子 : SD/RD + (ホット側)

-端子 : SD/RD + (コールド側)

S端子 : GND

注) 各+端子、-端子は内部で接続されています。

複数台の接続を容易にするため、2組の端子を装備しました。

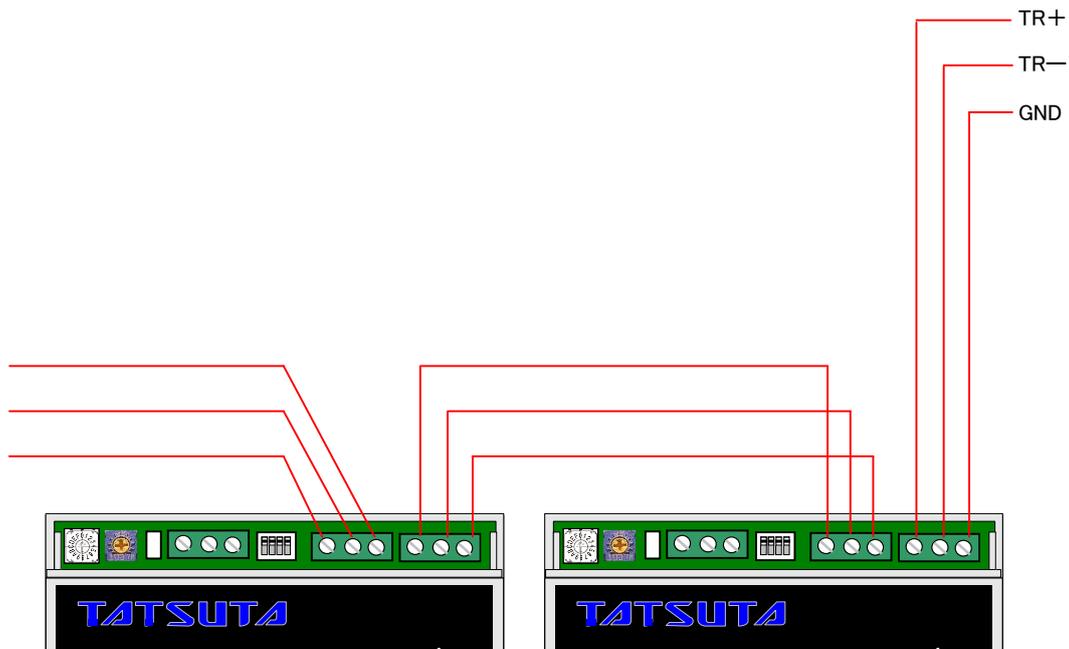


図-9. RS485 配線イメージ

RS485は接続上の両端となる機器にターミネータ(終端抵抗)をつけなければいけません。  
ただし、複数接続を行った場合は、両端以外のターミネータは重複して通信できなくなりますので、  
最初(上位システム機器)と最後の漏水検知器の2台のみ、ターミネータONとしてください。

**ご注意！) 複数のターミネータONは、  
過度の負荷により思わぬ障害を招きます。危険ですのでライン両端2ヶ所にしてください。**

## 6. 動作チェック

### 6-1. 電源の投入

検知器に電源が接続されると電源表示LEDおよびLCDのバックライトが点灯します。(図-10参照)  
点灯しない場合は装置の異常等が考えられます。速やかに電源を切断し弊社にご連絡下さい。



図-10. 電源立上げ時の動作

### 6-2. 断線動作チェック

- 1) **電源を切断し**漏水センサを中継端子台から取り外し、電源を投入して下さい。
- 2) ブザーが鳴動、警報表示LEDが点灯、警報接点が動作します
- 3) LCDのセンサ長の表示が「— — — —」となります。(図-11参照)
- 4) 動作確認後、**電源を切断し**センサを端子台に再接続して下さい。



図-11. 断線検知時の表示

### 6-3. 漏水動作チェック

- 1) センサに水道水を滴下して下さい。
- 2) ブザーが鳴動、警報表示LEDが点滅、警報接点が動作します。
- 3) LCDの表示が図-12となります。  
例: センサ 400mを接続し、200m地点を濡らした場合。
- 4) センサに滴下した水道水はウエス等で拭き取り漏水状態が復帰する事を確認して下さい。

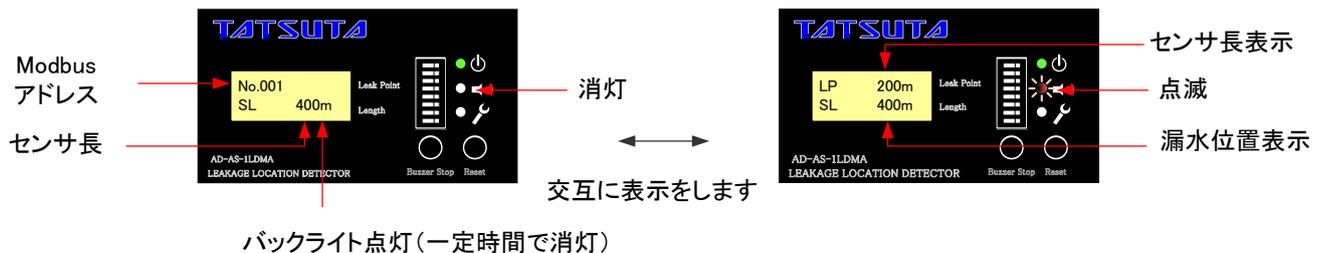


図-12. 漏水検知時の表示

## 7. 動作チャート

### 7-1. 標準動作チャート

(出荷時の設定)

動作チャートは図-13を参照

電源	OFF	ON		
電源表示LED	消灯	点灯		
漏水検知動作	OFF	ON	OFF	
断線検知動作	OFF		ON	OFF
警報表示LED	消灯	点滅	消灯	点滅
ブザー停止スイッチ	OFF	ON	OFF	ON
ブザー鳴動	OFF	ON	OFF	ON
制御出力接点 (警報: COM-NO)	開	閉	開	閉
センサ長表示	無表示	表示	---	表示
漏水位置表示	無表示	表示	無表示	
漏水位置データ出力 (4-20mA出力)	OFF	4mA	$6 + 0.03 \times \text{漏水位置表示(m)} \text{ mA}$	4mA
			20mA	4mA

図-13. 動作チャート1

#### ブザーについて

ブザー停止スイッチを押すことによりブザーが停止します。

再度漏水もしくは断線を検知した場合はブザーが鳴ります。

ブザーを常時鳴らないようにするには動作設定スイッチ No. 1をONにしてください。

ブザーの設定はModbus通信により、上位システムからも設定可能です。

## 7-2. 警報保持設定時の動作チャート

動作設定スイッチにより表示、制御出力接点を警報保持に設定することができます。

動作チャートは図-14を参照

制御出力接点の設定はModbus通信により、上位システムからも設定可能です。

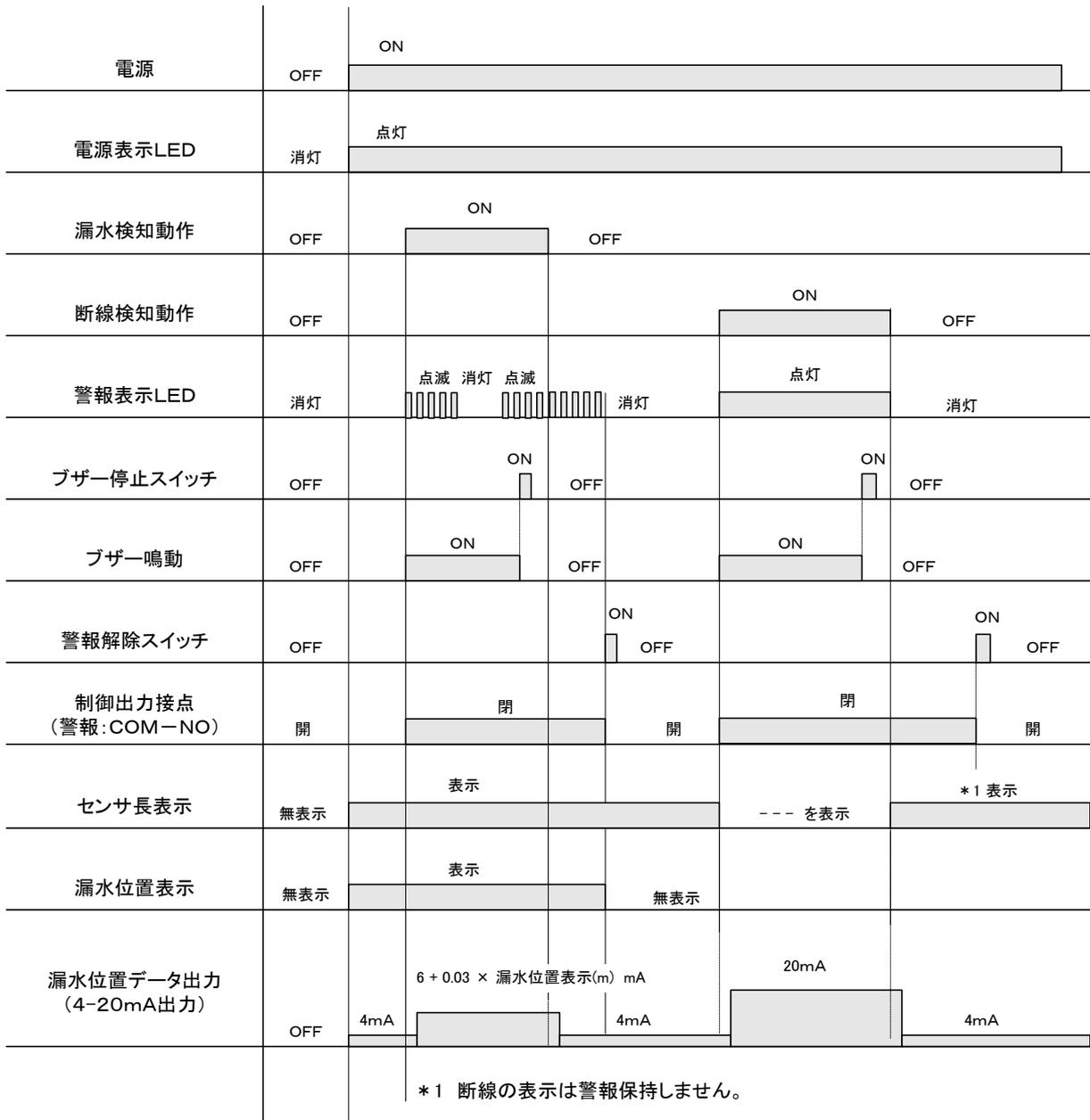


図-14. 動作チャート2

### 警報保持の動作について

警報保持に設定した場合、警報解除スイッチが押されるまで警報を保持をします。  
停電もしくは電源OFFで接点の動作は電源断の状態に戻ります。

### 警報表示LEDについて

警報表示LEDは、警報保持を行いません。漏水および、断線の復帰を検知すると消灯します。  
漏水センサをウエス等で拭いても警報表示LEDが点滅する場合は、複数箇所でも漏水が発生している可能性があります。  
表示している漏水位置をよく乾燥させてから、警報解除スイッチを押して下さい。  
\* 乾燥が不十分な場合、警報解除スイッチを押した後に表示する漏水位置と、実際の漏水位置に誤差が生じる場合があります。

## 8. Modbus アドレスの表示

上位システムと通信を行う際に使用する、Modbusのアドレスは下図のロータリースイッチで設定します。

ロータリースイッチで設定できるアドレスの範囲は 1 ~ 15までです。

\* 出荷時は0(無表示)に設定しています。

16 ~ 127 までの設定を行う際には、警報解除スイッチおよび、ブザー停止スイッチを操作して設定します。詳細は付図-6を参照お願いします。

設定されたアドレスは、LCDの左上に表示されます。

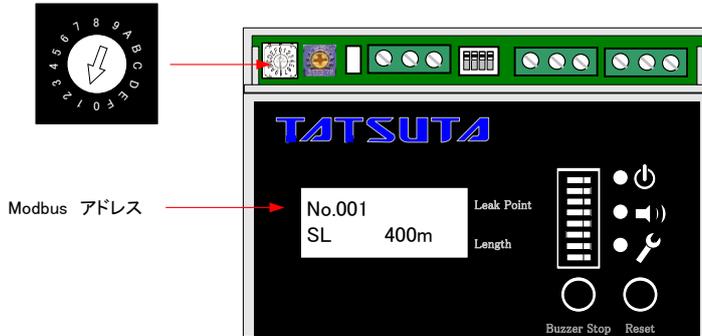


図-15. Modbus アドレスの表示

## 9. 検知感度の設定

動作設定スイッチの設定により検知感度を切替ることが出来ます。

\* 漏水センサは少量の水(例:結露等)で漏水を検知します。漏水センサが高温多湿な環境に設置される場合は検知感度を低く設定して下さい。

\* クリーンルーム等の温度、湿度が安定している環境で、純水など電気抵抗が高い液体を検知したい場合は検知感度を高く設定することをお勧めします。

## 10. ブザー設定

動作設定スイッチにより鳴動しない設定に変更可能です。

上記の設定はModbus通信により、上位システムからも変更可能です

## 11. 仕様

### 11-1. 定格

定格については表-2を参照して下さい。

表-2. 定格

項目	仕様
定格電圧	AC24V or DC24V
電源電圧変動範囲	各々の±10%
消費電力	5W以下
制御出力接点	* 仕様の11-2項、制御出力接点仕様を確認のこと
センサ印加電圧	AC12.5V (最大値)
使用周囲温度	0~50°C (ただし、氷結しないこと)
使用周囲湿度	35~95%RH (ただし、結露なきこと)

### 11-2. 制御出力接点仕様

制御出力接点については表-3を参照

表-3. 制御出力接点仕様

項目	抵抗負荷	誘導負荷
定格負荷	AC125V 0.4A DC 30V 2.0A	AC125V 0.2A DC 30V 1.0A
最小適用負荷	DC10mV 10μA (参考値)	

(リレー接点:G6E-134P-US オムロン(株)カタログ値)

### 11-3. 性能

性能については表-4を参照

表-4. 性能

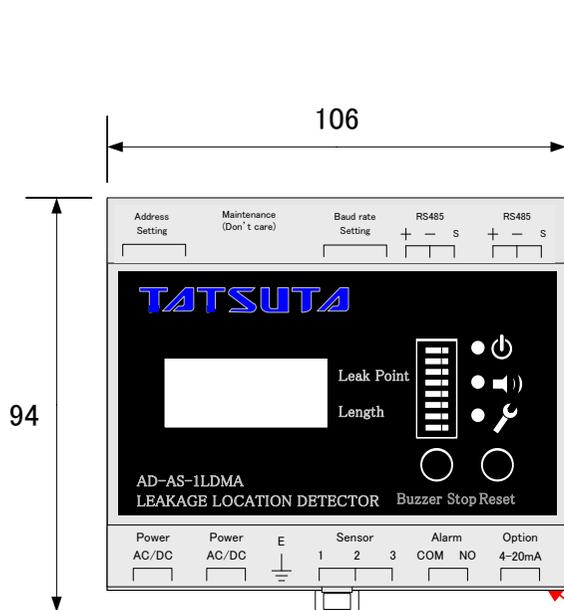
項目	仕様			
センサ回路数	1回路			
センサ接続条長	1~400m			
検知感度設定	低感度	標準感度	高感度	最高感度
漏水検知感度	10±2.0kΩ	25±2.5kΩ%	50±5.0kΩ%	100±10.0kΩ%
漏水復帰感度	16±3.0kΩ	37±3.7kΩ%	68±6.8kΩ%	125±12.5kΩ%
検知精度	1~100m :±1m 101~400m :センサ長±1%			
表面パネル 操作スイッチ機能	ブザー停止スイッチ : 1点			
	警報解除スイッチ : 1点			
表面パネル LED表示	電源表示 緑色 : 1点 (点灯)			
	警報表示 赤色 : 1点 (漏水時 点滅) (断線時 点灯)			
	メンテナンス表示 : 1点			
表面パネル LCD表示	Modbus アドレス : 1 ~ 127 センサ長、漏水位置表示 : メートル表示 or フィート表示			
表面パネル 動作設定スイッチ	表示、制御出力接点、検知感度等の設定変更に使用 詳細は付図-3参照			
警報ブザー	平均音圧 90dB/10cm (メーカーカタログ値)			
制御出力接点	接点 構成	◇接点(仕様の仕様の11-2項を参照) 漏水、断線 兼用 : 1a 1点 * Modbus による通信、もしくは 動作設定スイッチによりb接点に変更可能		
漏水位置データ出力	4-20mA カレントループ出力 (外部負荷抵抗 : 500Ω以下)×1点 センサ正常時 : 4mA センサ断線時 : 20mA 漏水検知時 : 6 + 0.03 × 漏水位置表示(m) mA ±1%			
耐電圧	AC1500V (50/60Hz)/1分間 (電源端子 ~ 本体ケース間)			
絶縁抵抗	10MΩ以上 (DC500Vメガーにて)/1分間 (電源端子 ~ 本体ケース間)			
耐ノイズ性	±1000V パルス幅1μSEC (ノイズシュミレータ)/1分間 (各相~アース端子間) 電源 2kv 5kHz センサ 1kv 5kHz ※IEC61000-4-4			
外形寸法	(W) 106 × (H) 94 × (D) 57 (単位mm 付図-1参照)			
重量・色	約260g、グレー			

8 7 6 5 4 3 2 1

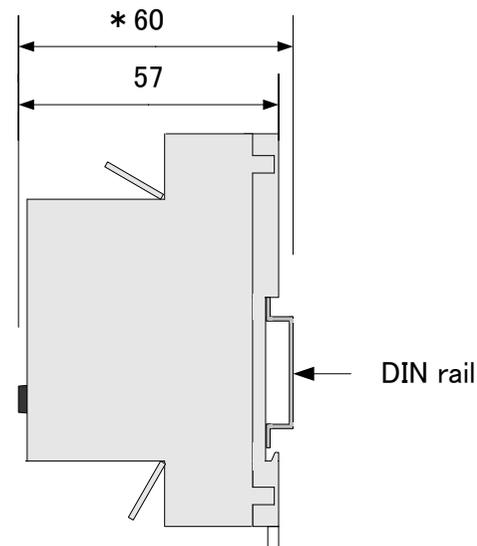
付図-1

H  
G  
F  
E  
D  
C  
B

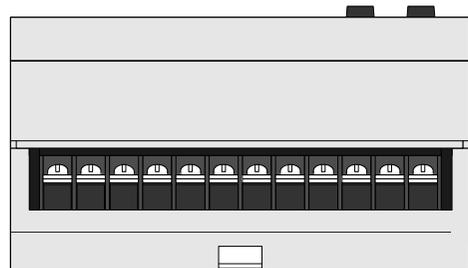
H  
G  
F  
E  
D  
C  
B



\* DINレール取付け時の寸法



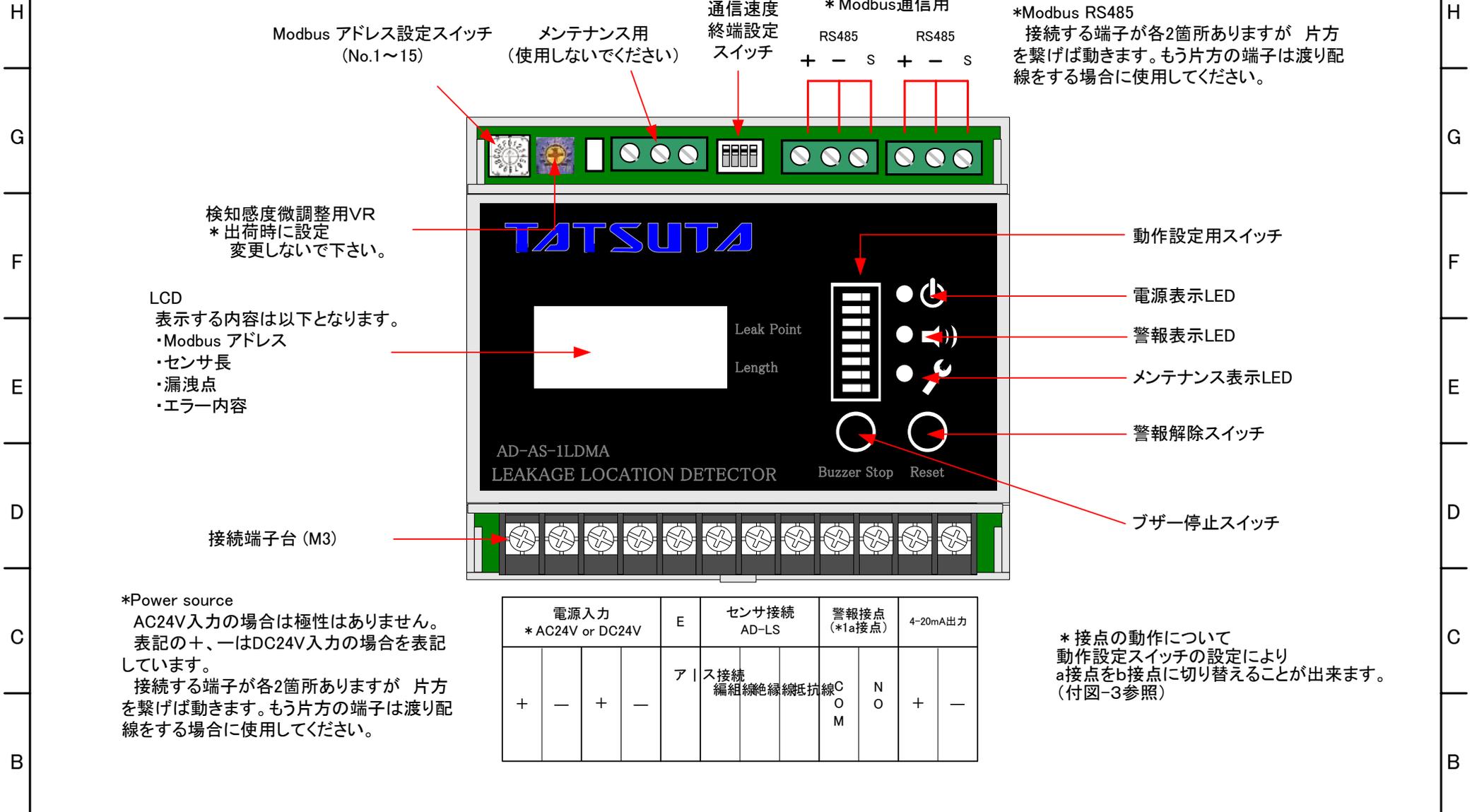
94



端子台カバー

A	改定日	作成	確認	承認	改定の理由	承認	確認	作成	縮尺	-/-	名称 漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA) 外形寸法図
									単位	mm	
									作成	2014.12.01	
							タツタ電線株式会社				

8 7 6 5 4 3 2 1



Modbus アドレス設定スイッチ  
(No.1~15)

メンテナンス用  
(使用しないでください)

通信速度  
終端設定  
スイッチ

\* Modbus通信用  
RS485 RS485  
+ - S + - S

\*Modbus RS485  
接続する端子が各2箇所ありますが 片方を繋げば動きます。もう片方の端子は渡り配線をする場合に使用してください。

検知感度微調整用VR  
\* 出荷時に設定  
変更しないで下さい。

LCD  
表示する内容は以下となります。  
・Modbus アドレス  
・センサ長  
・漏洩点  
・エラー内容

動作設定用スイッチ

電源表示LED

警報表示LED

メンテナンス表示LED

警報解除スイッチ

ブザー停止スイッチ

接続端子台 (M3)

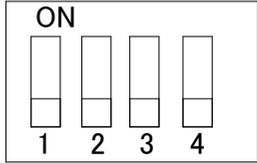
\*Power source  
AC24V入力の場合は極性はありません。  
表記の+、-はDC24V入力の場合を表記  
しています。  
接続する端子が各2箇所ありますが 片方を繋げば動きます。もう片方の端子は渡り配線をする場合に使用してください。

電源入力 * AC24V or DC24V				E	センサ接続 AD-LS		警報接点 (*1a接点)		4~20mA出力													
+	-	+	-	ア	ス	接	続	編	組	線	絶	縁	抵	抗	線	C	O	M	N	O	+	-

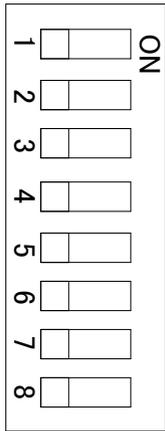
\* 接点の動作について  
動作設定スイッチの設定により  
a接点をb接点に切り替えることができます。  
(付図-3参照)

A	改定日	作成	確認	承認	改定の理由	承認	確認	作成	縮尺	-/-	名称	漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA) 各部説明			
														単位	mm
													作成	2014.12.01	
タツタ電線株式会社															

付図-3



No	動作設定	動作説明 * 電源投入前に設定してください。
1	OFF	表面の8bitスイッチの設定について OFF : 設定有効 ON : 設定無効 (Modbuss通信で設定)
2	OFF	通信速度設定 (2) (3) OFF - OFF : 4800bps ON - OFF : 9600bps
3	OFF	OFF - ON : 19200bps ON - ON : 38400bps
4	OFF	終端抵抗設定 OFF : 無接続 ON : 終端接続



No	動作設定	動作説明 * 4bit DIPスイッチの No.1 が OFFの場合、設定の変更が有効
1	OFF	ブザー鳴動 OFF : 動作する ON : 動作しない
2	OFF	漏水位置表示 警報保持 OFF : なし ON : あり
3	OFF	メートル表示、フィート表示の切り替え OFF : なし ON : あり
4	OFF	警報リレー 警報保持 OFF : なし ON : あり
5	OFF	警報リレー a接点、b接点 動作 OFF : a接点 ON : b接点
6	OFF	未使用 OFF固定
7	OFF	検知感度切替 (7) (8) OFF - OFF 標準感度 約 25kΩ ON - OFF 低感度 約 10kΩ
8	OFF	OFF - ON 高感度 約 50kΩ ON - ON 最高感度 約 100kΩ

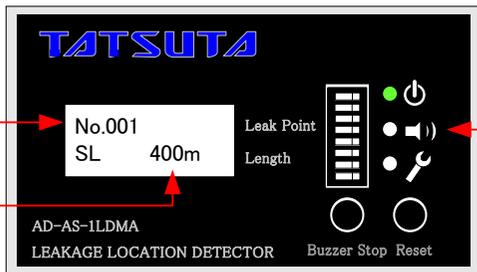
\*SWを変更すると、表示、リレー等の動作が変更されます。  
不用意に変更した場合、意図しない動作となりますので注意してください。

改定日	作成	確認	承認	改定の理由	承認	確認	作成	縮尺	-/-	名称	
								単位	mm		漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA) 動作設定スイッチ説明
							作成	2014.12.01			
タツタ電線株式会社											

**センサ正常時の表示**

Modbus  
アドレス

センサ長

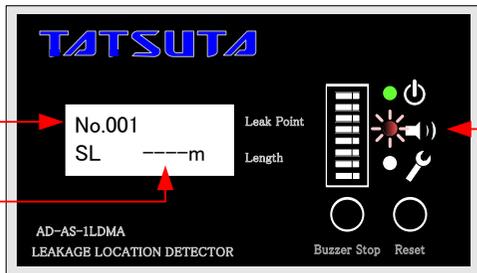


消灯

**センサ断線時の表示**

Modbus  
アドレス

断線表示  
- - - -

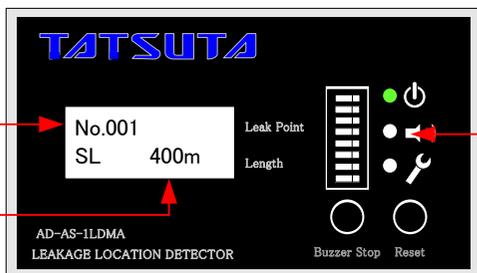


点灯

**漏水検知時の表示**

Modbus  
アドレス

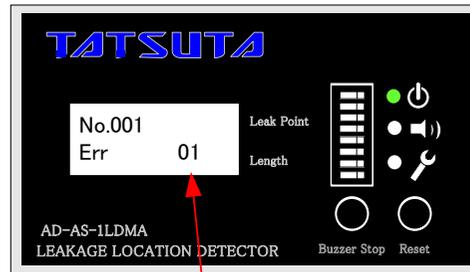
センサ長



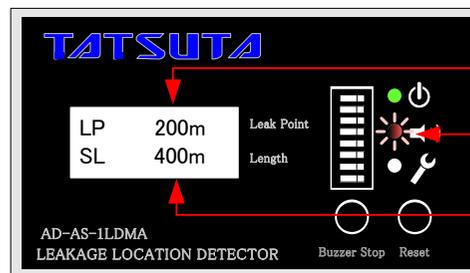
消灯

交互に表示をします

**漏水位置検知データの異常表示**



以下の場合「Err 01」の表示が追加されます。  
 ①検知器—外部アナログ入力装置間の配線・接続が切れた、  
 または入力抵抗が500Ω以上の場合。  
 ②4-20mA出力用、検知器内部電源の故障。



漏洩点表示

点滅

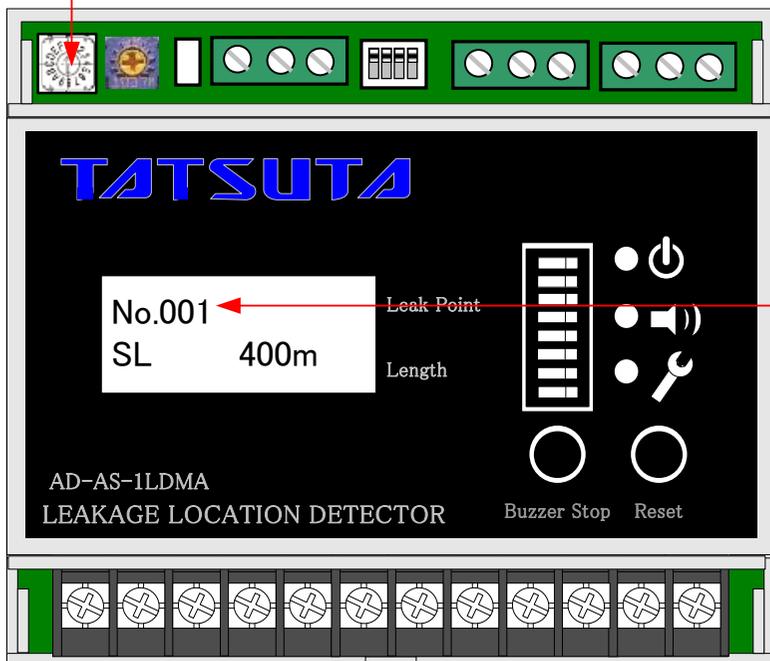
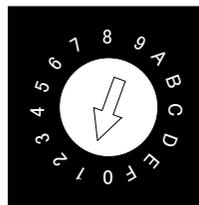
センサ長表示

改定日	作成	確認	承認	改定の理由

承認	確認	作成	縮尺	-/-
			単位	mm
タツタ電線株式会社				作成 2014.12.01

名称	漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA) 表示部説明-1
----	-------------------------------------

### ModBus Address の設定方法①



機器のロータリースイッチを操作し、設定します。  
設定できるアドレスは 1～15までです。  
各ダイヤルに対応するアドレスは以下となります

- アドレス “1”～“9” = ダイヤル “1”～“9”
- アドレス “10” = ダイヤル “A”
- アドレス “11” = ダイヤル “B”
- アドレス “12” = ダイヤル “C”
- アドレス “13” = ダイヤル “D”
- アドレス “14” = ダイヤル “E”
- アドレス “15” = ダイヤル “F”

アドレスを16～127に設定する場合は、ダイヤルを”0”に合わせ、ブザーストップスイッチとリセットスイッチを操作し設定します。  
詳細は次ページを参照お願いします。

同じ通信ラインに、同一アドレスを割り当てると通信障害の原因となります。  
御注意をお願いします。

改定日	作成	確認	承認	改定の理由

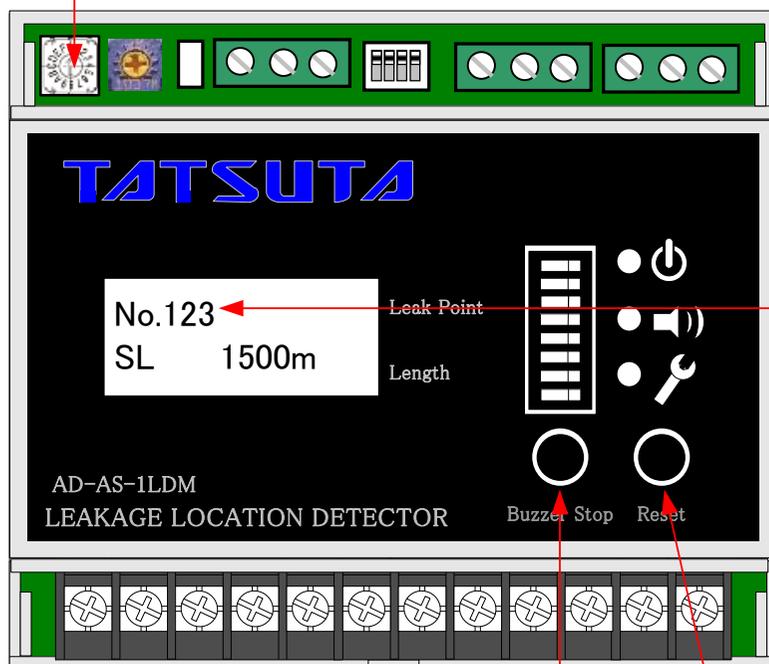
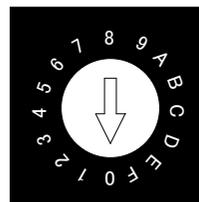
承認	確認	作成	縮尺	-/-
			単位	mm
タツタ電線株式会社			作成	2014.12.01

名称	漏水位置検知器 (AD-AS-1LDMA)
	表示部説明-2

H  
G  
F  
E  
D  
C  
B  
A

H  
G  
F  
E  
D  
C  
B  
A

## ModBus Address の設定方法② 16以上に設定する場合



数字の調整ボタン

桁数の選択/決定ボタン

### 設定の手順

- ①機器のロータリースイッチを”0”に設定してください。
- ②”Buzzer Stop”と”Reset”スイッチを2秒以上長押ししてください。  
設定画面になります。
- ③”Buzzer Stop”スイッチで桁を選択してください。  
選択されている桁の数字が点滅します。
- ④”Reset”スイッチで希望の数字に調節してください。  
1度押すごとに数字がカウントアップされます。  
0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0
- ⑤ご希望のアドレスを表示出来たら、”Buzzer Stop”スイッチを2秒以上  
長押ししてください。設定が終了し、Noのところにアドレスが表示されます。

同じ通信ラインに、同一アドレスを割り当てると通信障害の原因となります。  
御注意をお願いします。

A	改定日	作成	確認	承認	改定の理由	承認	確認	作成	縮尺	-/-	名称	漏水位置検知器 (AD-AS-1LDM) 表示部説明-3	
										単位			mm
										作成			2014.12.01
							タツタ電線 株式会社						